

## 穴水町 調査総括表(1/9)

調査番号	4	県名	石川県	市町名	穴水町			
<b>1. 被害の状況等</b>								
<b>(1) 被災前の人団(R5.11月末)</b>			<b>被災状況図</b>					
総人口	7,360人							
<b>年齢階級別人口</b>								
項目	0-14歳	15-64歳	65歳以上					
人口(人)	439	3,247	3,620					
比率	6.7%	44.1%	49.2%					
<b>(2) 人的被害の状況(R7.3.18)</b>								
死者	46人 (うち災害関連死者 26人)							
行方不明者	一							
<b>(3) 都市計画等の状況</b>								
都市計画区域	一部都計区域							
市街化区域	区域区分 無							
用途地域	用途地域指定 有							
<b>(4) 建物等被災の状況(R6.5.20) ※割合は行政区域等の各区域に示す割合</b>								
区域	総軒数 (軒)	全壊区域		半壊区域		一部損壊区域		流出軒数 (軒)
		軒数(軒)	割合(%)	軒数(軒)	割合(%)	軒数(軒)	割合(%)	
行政区域	11,886	1,200	10.1%	2,199	18.5%	2,274	19.1%	—
都市計画区域	4,329	481	11.1%	839	19.4%	1,008	23.3%	—
用途地域	2,460	270	11.0%	440	17.9%	701	28.5%	—
<b>(5)津波浸水被害の状況</b>			<b>(6)液状化被害の状況</b>			<b>(7)火災被害の状況</b>		
区域	総面積(ha)		軒数(軒)	総面積(ha)				
	面積(ha)	割合(%)		面積(ha)	割合(%)			
行政区域	11.79	100%	—	—	—			
都市計画区域	0	0%	—	—	—			
用途地域	0	0%	—	—	—			

穴水町 調査総括表(2/9)

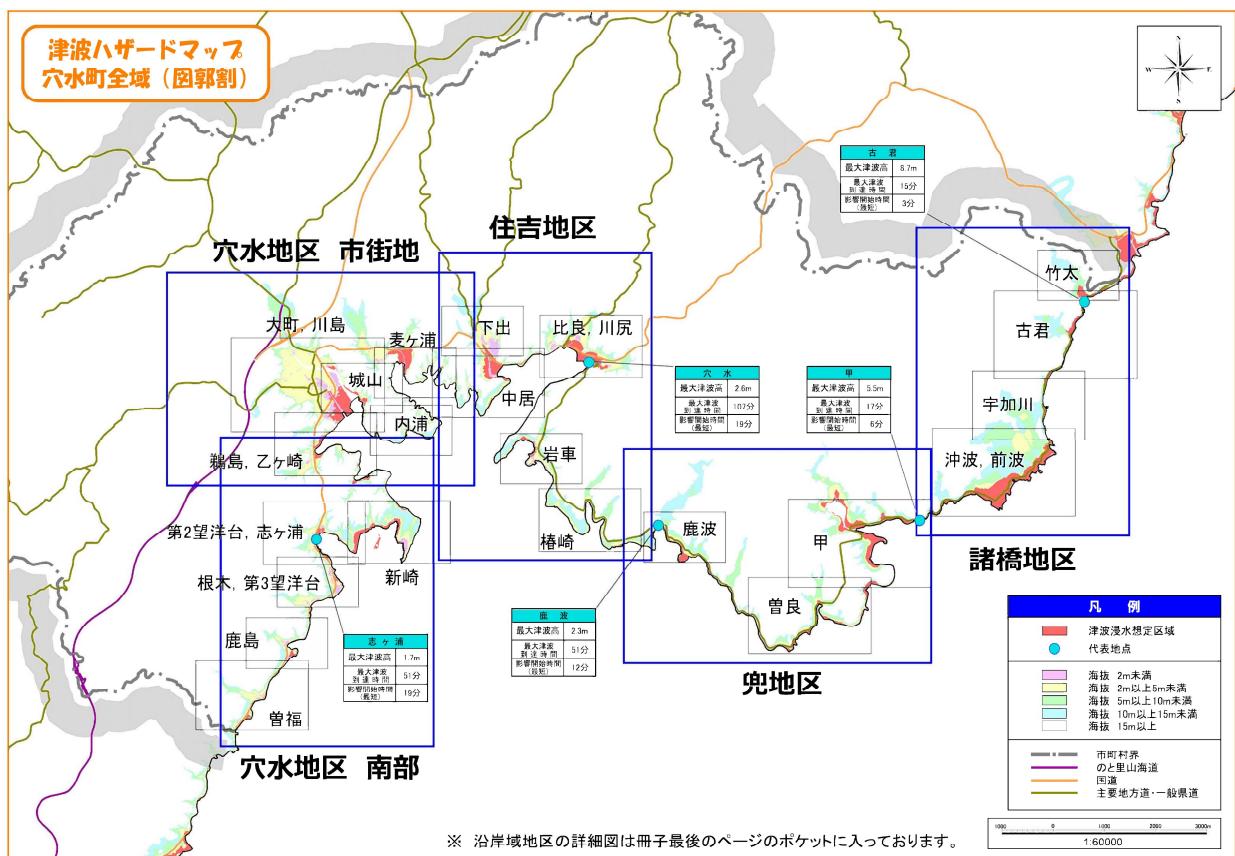
(8)インフラの状況(R6.11 未時点)				
区分		被害状況	復旧状況	備考
道 路	国道	通行止め	2 路線	全通
		片側交互通行	0 路線	全通
	県道	通行止め	5 路線	全通
		片側交互通行	2 路線	全通
	町道	通行止め	20 路線	5 路線
		片側交互通行	11 路線	3 路線
電気		全域停電	全通	復旧日 : R6. 2. 28
水 道	上水道		全域断水	全通
	営農飲雑用水施設		全域断水	全通
	小規模水道施設		全域断水	全通
	その他水道施設		全域断水	全通
下 水 道	公共下水道		全域使用不可	全域使用可能
	漁業集落排水		一部使用不可	全域使用可能
	林業集落排水		全域使用不可	全域使用可能
通 信	電話		全域不通	全通
	インターネット		全域不通	全通
	ケーブルテレビ		全域不通	全通
(9)仮設住宅の整備状況				
区分		世帯	整備状況	備考
応急仮設住宅		524 世帯	532 戸完成 進捗率 100%	
みなし仮設住宅		104 世帯	－	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、野々市市、穴水町

## 穴水町 調査総括表(3/9)

### 2. 各種ハザード・過去の被災状況

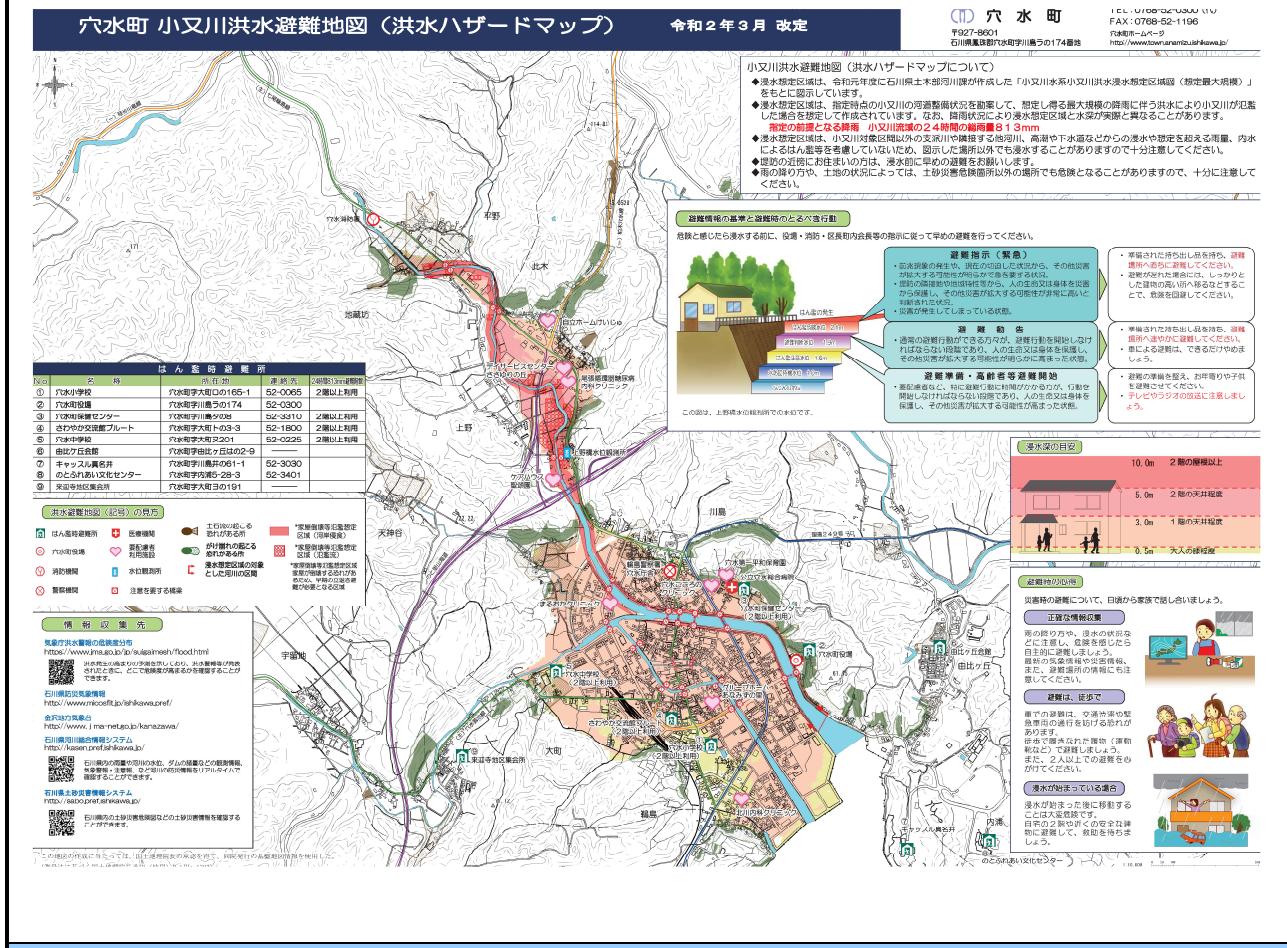
#### (1)各種ハザード状況

- ・穴水町津波ハザードマップ（平成 30（2018）年改定）



## 穴水町 調査総括表(4/9)

- ・穴水町小又川洪水ハザードマップ（令和2（2020）年3月改定）



## (2)過去の被災状況およびその後の対策

## ■平成19年能登半島地震

- ・平成 19 (2007) 年 3 月 25 日 9 時 41 分、能登半島沖の深さ 11km でマグニチュード 6.9 の地震が発生
  - ・人的被害：死者 0 名、重傷者 3 名、軽傷者 36 名
  - ・住家被害（棟）：全壊 79 棟、半壊 100 棟、一部損壊 2,318 棟

出典：石川県「平成 19 年能登半島地震災害記録誌」

## ■台風・集中豪雨

近年、台風や集中豪雨などによる災害が発生。本町における災害危険箇所の分布状況を見ると、土石流危険渓流、地すべり危険箇所など全ての項目において、都市計画区域外で面積、箇所数ともに多く分布。一方、用途地域では土砂災害警戒区域が比較的多く分布。

⇒2013年3月に「穴水町地域防災計画」を策定し、総合的かつ計画的に災害への各種対策を位置づけるとともに、津波ハザードマップや洪水ハザードマップなどの作成及び指定避難場所の公開など、積極的な防災対策を講じている。

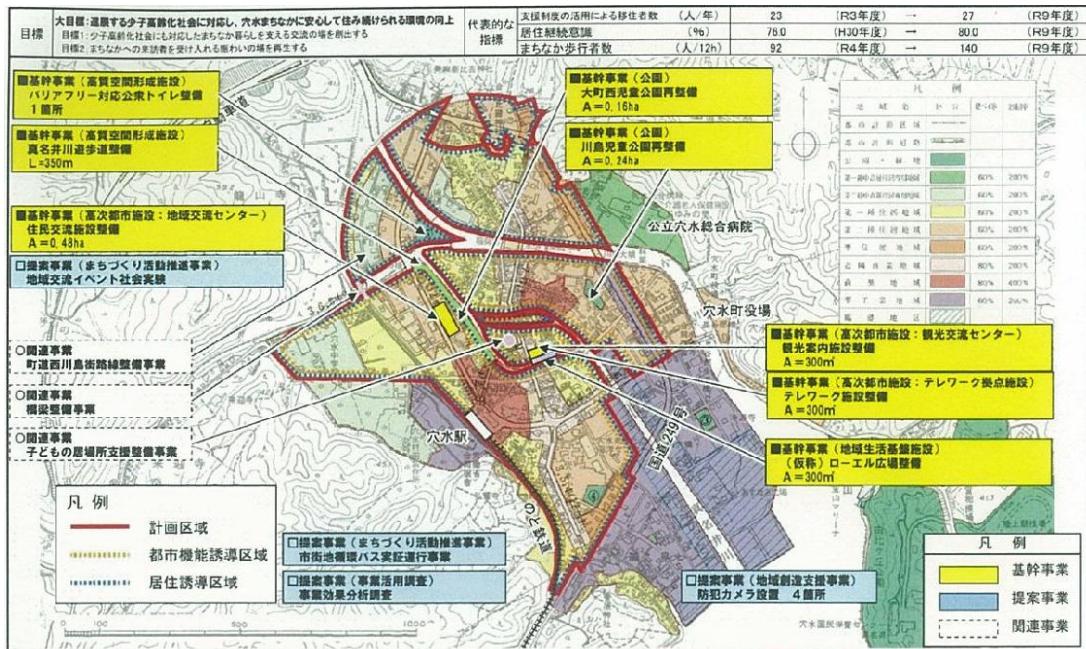
## 穴水町 調査総括表(5/9)

### 3. 被災前の上位関連計画策定状況

- 穴水町まち・ひと・しごと創生総合戦略 (H27)
- 穴水町都市計画マスター・プラン (R2)
- 立地適正化計画 (R2)

### 4. 被災前の開発・事業計画状況

- 都市再生整備計画：穴水中央地区（令和5（2023）年2月）整備方針概要図



### 5. 復興計画の策定状況

#### (1) 復興事前準備の状況

- 事前復興計画 無
- 地域防災計画 有

#### (2) 復興計画等の策定状況

	名称	策定年月日	委員会	パブリックコメント
復興計画	穴水町復興計画	令和6年12月27日	有	有
その他の方針・計画	無			

#### (3) 復興計画の策定方法等での特質(住民参加・大学との連携等・方向性の変更等)

- 復興計画策定委員会（8回開催）
- 復興未来づくり協議会議（5回開催）
- 住民説明会（地区懇談会）（12回開催）
- 中学生議会（1回開催）
- アンケート調査（19歳以上の全町民対象、高校生対象）

穴水町 調査総括表(6/9)

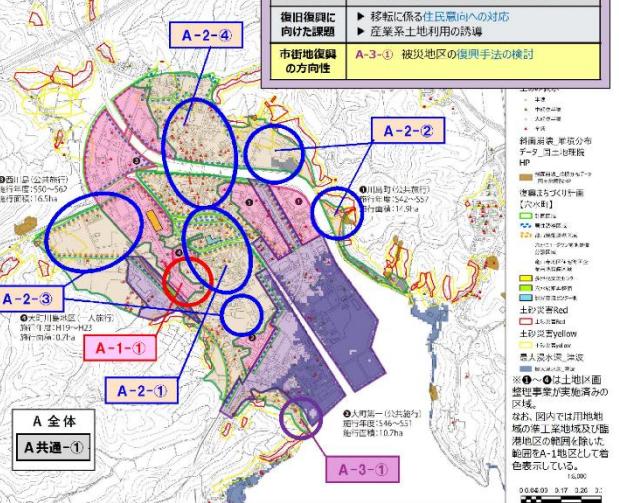
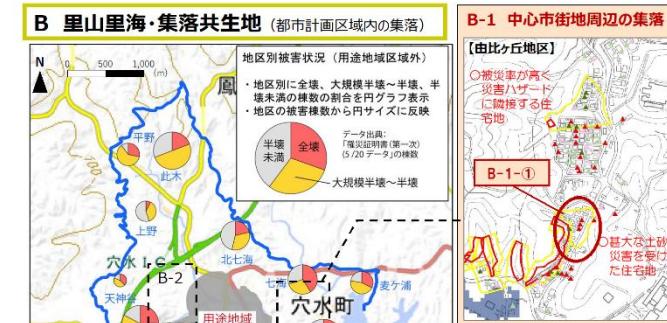
6. 復興計画の概要(市町全体)

(1) 整備の基本的な考え方		(2) 整備にあたっての基本的な方針	(4) 復興構想図(市町全体対象)
<p>シンボルプロジェクトの推進</p> <p>(1) 災害に強いまちづくりプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いつ大災害が起きたときも対応できるような災害に強いライフラインの構築</li> <li>・ 個別避難計画の作成、地域防災計画やハザードマップ、都市計画の見直し 等</li> </ul> <p>(2) 地域コミュニティとなりわいの再生プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住み慣れた場所に住み続けられるように地域を維持・再生</li> <li>・ 各地域や各産業への支援や関係人口の拡大など、町にぎわい創出 等</li> </ul> <p>(3) 魅力ある子育てと教育の環境づくりプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育関連施設の再整備</li> <li>・ 魅力ある子育てと環境づくり 等</li> </ul> <p>(4) 奥能登の玄関口再生プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 穴水駅及びその周辺の再整備</li> <li>・ 既存交通の維持存続や新たな交通手段の確保、駅から続く町商店街の再生と活性化、新たな住まいの確保や物流拠点としての面的整備 等</li> </ul>	<p>住宅再建の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害公営住宅の建設</li> <li>・ 居住誘導区域の見直しを行い、新たな住まいの確保に向けた面的整備の推進</li> </ul>	<p>※復興計画において復興構想図なし</p>
<b>(3) 地区別の方針の概要</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート調査や住民説明会等は、5つの地区区分を基本に実施。復興計画の方針は、町域全体を対象に施策体系を示している。</li> </ul> <p>■地区区分：穴水地区（大町、川島）、穴水地区（大町、川島以外）、住吉地区、兜地区、諸橋地区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4つのシンボルプロジェクトの内、「奥能登の玄関口再生プロジェクト」は、概ね穴水地区（大町、川島）の中心市街地を対象とするものである。</li> </ul>	<p>浸水対策の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 能登半島地震を教訓とした地域防災計画等の見直し</li> <li>・ 大規模な災害を想定した道路網の整備や公共施設などの機能強化と拡充</li> <li>・ 災害時に拠点となる医療機関と福祉施設等の機能強化</li> </ul>	
<p>地区名</p>	<p>復興の基本的な考え方</p>		
<p>穴水地区（大町、川島）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 穴水駅周辺の再生 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「奥能登の玄関口」だけではなく「目的地 穴水」となるように穴水駅舎やその周辺施設などの再整備やにぎわい創出に向けた商店街などの再生を行います。</li> </ul> </li> <li>● 公共交通機関や新たな交通手段の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 奥能登の玄関口という立地条件を活かした交通のハブ機能と二次交通の強化を行います。</li> </ul> </li> <li>● 住まいや物流拠点の再整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害公営住宅の建設や新たな住まいが確保できるような面的整備と物流拠点や物流ルートの整備を行います。</li> </ul> </li> </ul>		

## 穴水町 調査総括表(7/9)

7. 地区別復興方針(穴水中央地区)					
(1)地区の概況					
面積(ha)	61.5	都市計画	都計区域、用途地域	役所・支所等	含まない
土地利用(被災前)概況		昭和 60 年に 13,565 人であった人口は令和 2 年には 7,890 人まで大きく減少、中心市街地の人口減少や低未利用地、空き家、空き店舗が増加。持続可能な市街地再生が急務。			
被災の状況		震度 6 強を観測、町政史上最も甚大な被害が発生。特に、家屋の被害は、中心市街地が約 7 割を占める他、インフラの被害や土砂災害の住宅被害も中心市街地周辺に集中。			
復興方針策定上 留意すべき特徴		震災前より実施中であった都市構造再編集中支援事業(穴水中央地区)と穴水駅周辺整備などの震災復興と併せて、効率的で持続可能な都市機能の「集約と連携」を図り、早期の市街地復興・再生する。			
まちづくり団体の状況		復興計画の策定に際し復興未来づくり会議を開催、今後も継続の予定。更に、地区単位での検討や活動について、エリアマネジマネの展開を図る。			
(2)地区の整備について					
住宅再建の方法		自己再建の支援、空地や空家も活用検討、面的整備の検討など			
コミュニティの復興方法		地区単位での検討会、住民参加手法の導入			
浸水対策の方法		浸水想定を考慮した地盤の嵩上げ等			
火災対策の方法		地区単位での防火活動の強化、世帯単位での消化施設等の整備支援・啓発、地域単位での水環境やオープンスペースの活用			
市街地の 整備方法	基本の方針	・少子高齢化社会にも対応したまちなか暮らしを支える交流の場を創出する ・まちなかへの来訪者を受け入れる賑わいの場を再生する ・中心市街地の震災からの早期復興を促進する			
	現位置整備 の方法	令和 7 年度に検討予定(都市計画の見直し等と併せて)			
	移転区域の 方針	令和 7 年度に検討予定(都市計画の見直し等と併せて)			
	土地利用 規制の方法	令和 7 年度に検討予定(都市計画の見直し等と併せて)			
	公共公益 施設の整備 方法	令和 7 年度に検討予定(都市計画の見直し等と併せて)			
	その他特記 すべき方針	令和 7 年度に検討予定(都市計画の見直し等と併せて)			
	整備 スケジュール	令和 7 年度に計画検討、令和 8 年度から事業化			
避難方法		令和 7 年度に検討予定(都市計画の見直し等と併せて)			
交通体系の整備方法		令和 7 年度に検討予定(都市計画の見直し等と併せて)			
産業・生業、観光・交流 の復興方法		令和 7 年度に検討予定(都市計画の見直し等と併せて)			
景観・文化の復興方法		令和 7 年度に検討予定(都市計画の見直し等と併せて)			

## 穴水町 調査総括表(8/9)

(3)実現に向けての課題																													
実現に向けての課題	復興計画における施策体系に基づく、各計画の事業化を検討、調整中の段階であり、庁内調整を含めた検討期間が必要																												
(4)比較した代替案																													
上記以外の比較案	上記構想案採用に至った理由																												
無	—																												
(5)地区別構想図																													
<p><b>A 中心市街地</b> (住居・工業系の用途地域内)</p> <p><b>A-1 整備済み市街地</b></p> <p>都市計画区域の用途地域内、土地区画整理事業完了区域から工業系用途・臨港地区を除いたエリア</p> <table border="1"> <tr> <td>地域特徴</td> <td>▶ 事業地で建物の朽度に差異 ▶ IX画・都市整備が整備済み ▶ 低未利用地が多いエリアがある</td> </tr> <tr> <td>被害状況</td> <td>▶ 事業年度が古いため災害率が高い ▶ 観光・交流等の機能強化</td> </tr> <tr> <td>復旧復興に向けた課題</td> <td>▶ 観光・交流等の機能強化 ▶ 契約の玄関口としての魅力の向上 ▶ 中心市街地・集落との連絡強化</td> </tr> <tr> <td>市街地復興の方向性</td> <td>A-1-① 道の駅と連携した駅前の再整備</td> </tr> </table> <p><b>A-2 既存市街地</b></p> <p>都市計画区域の用途地域内、土地区画整理事業等の市街地整備を行っていない区域から工業系用途・臨港地区を除いたエリア</p> <table border="1"> <tr> <td>地域特徴</td> <td>▶ 山崩の老朽化箇所が多い ▶ 道路の整備水準がやや低い</td> </tr> <tr> <td>被害状況</td> <td>▶ 老朽化が進み、被災率が高い ▶ 商店街等に伴う商店街の分断が加速 ▶ 役場が土砂災害で被災し、時的に通信障害等が発生</td> </tr> <tr> <td>復旧復興に向けた課題</td> <td>▶ 市街地のスマート化への対応 ▶ 移転に係る住民意向への対応 ▶ 商業等に向けた再生</td> </tr> <tr> <td>市街地復興の方向性</td> <td>A-2-① 駅周辺のアクセスや市街地環境の整備 A-2-② 役場等の防災対策や移転の検討 A-2-③ 小学校等再建と跡地活用の検討 A-2-④ スポンジシティに対応した市街地再生の検討</td> </tr> </table>	地域特徴	▶ 事業地で建物の朽度に差異 ▶ IX画・都市整備が整備済み ▶ 低未利用地が多いエリアがある	被害状況	▶ 事業年度が古いため災害率が高い ▶ 観光・交流等の機能強化	復旧復興に向けた課題	▶ 観光・交流等の機能強化 ▶ 契約の玄関口としての魅力の向上 ▶ 中心市街地・集落との連絡強化	市街地復興の方向性	A-1-① 道の駅と連携した駅前の再整備	地域特徴	▶ 山崩の老朽化箇所が多い ▶ 道路の整備水準がやや低い	被害状況	▶ 老朽化が進み、被災率が高い ▶ 商店街等に伴う商店街の分断が加速 ▶ 役場が土砂災害で被災し、時的に通信障害等が発生	復旧復興に向けた課題	▶ 市街地のスマート化への対応 ▶ 移転に係る住民意向への対応 ▶ 商業等に向けた再生	市街地復興の方向性	A-2-① 駅周辺のアクセスや市街地環境の整備 A-2-② 役場等の防災対策や移転の検討 A-2-③ 小学校等再建と跡地活用の検討 A-2-④ スポンジシティに対応した市街地再生の検討	<p><b>A-1～3共通の課題</b></p> <table border="1"> <tr> <td>復旧復興に向けた課題</td> <td>▶ 移転に係る住民意向への対応 ▶ 低未利用地等の有効活用</td> </tr> <tr> <td>市街地復興の方向性</td> <td>A-1-④ 市街地計画の見直し (都市マス、立地・防災・緑化)</td> </tr> </table> <p><b>A-3 工業系市街地</b></p> <p>都市計画区域の用途地域内、工業系用途・臨港地区のエリア (土地区画整理事業完了区域を除く)</p> <table border="1"> <tr> <td>地域特徴</td> <td>▶ 広範に津波浸水の災害リスクがある ▶ 低未利用地が多い</td> </tr> <tr> <td>被害状況</td> <td>▶ 事業年度が古いため災害率が高い</td> </tr> <tr> <td>復旧復興に向けた課題</td> <td>▶ 移転に係る住民意向への対応 ▶ 産業系土地利用の誘導</td> </tr> <tr> <td>市街地復興の方向性</td> <td>A-3-① 被災地区的復興手法の検討</td> </tr> </table> 	復旧復興に向けた課題	▶ 移転に係る住民意向への対応 ▶ 低未利用地等の有効活用	市街地復興の方向性	A-1-④ 市街地計画の見直し (都市マス、立地・防災・緑化)	地域特徴	▶ 広範に津波浸水の災害リスクがある ▶ 低未利用地が多い	被害状況	▶ 事業年度が古いため災害率が高い	復旧復興に向けた課題	▶ 移転に係る住民意向への対応 ▶ 産業系土地利用の誘導	市街地復興の方向性	A-3-① 被災地区的復興手法の検討
地域特徴	▶ 事業地で建物の朽度に差異 ▶ IX画・都市整備が整備済み ▶ 低未利用地が多いエリアがある																												
被害状況	▶ 事業年度が古いため災害率が高い ▶ 観光・交流等の機能強化																												
復旧復興に向けた課題	▶ 観光・交流等の機能強化 ▶ 契約の玄関口としての魅力の向上 ▶ 中心市街地・集落との連絡強化																												
市街地復興の方向性	A-1-① 道の駅と連携した駅前の再整備																												
地域特徴	▶ 山崩の老朽化箇所が多い ▶ 道路の整備水準がやや低い																												
被害状況	▶ 老朽化が進み、被災率が高い ▶ 商店街等に伴う商店街の分断が加速 ▶ 役場が土砂災害で被災し、時的に通信障害等が発生																												
復旧復興に向けた課題	▶ 市街地のスマート化への対応 ▶ 移転に係る住民意向への対応 ▶ 商業等に向けた再生																												
市街地復興の方向性	A-2-① 駅周辺のアクセスや市街地環境の整備 A-2-② 役場等の防災対策や移転の検討 A-2-③ 小学校等再建と跡地活用の検討 A-2-④ スポンジシティに対応した市街地再生の検討																												
復旧復興に向けた課題	▶ 移転に係る住民意向への対応 ▶ 低未利用地等の有効活用																												
市街地復興の方向性	A-1-④ 市街地計画の見直し (都市マス、立地・防災・緑化)																												
地域特徴	▶ 広範に津波浸水の災害リスクがある ▶ 低未利用地が多い																												
被害状況	▶ 事業年度が古いため災害率が高い																												
復旧復興に向けた課題	▶ 移転に係る住民意向への対応 ▶ 産業系土地利用の誘導																												
市街地復興の方向性	A-3-① 被災地区的復興手法の検討																												
<p><b>B 里山里海・集落共生地</b> (都市計画区域内の集落)</p> <p><b>B-1 中心市街地周辺の集落</b></p> <p>地区別被害状況 (用途地域区域外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別に全壊、大規模半壊～半壊、半壊未満の種類の割合を円グラフ表示</li> <li>・地区的被害棟数から円グラフに反映</li> </ul> <p>データ出典: 「被災延べ戸数」(第一次) (5/20データ)の種類</p>  <p><b>B-2 中心市街地隣接地域</b></p> <p>都市計画区域の用途地域区域外、中心市街地隣接地域で震災前に町が開発を計画していたエリア</p> <table border="1"> <tr> <td>地域特徴</td> <td>▶ 旧制帝の老朽化箇所が多い ▶ 道路の整備水準が低い ▶ 土砂災害や洪水浸水等の災害リスクがある</td> </tr> <tr> <td>被害状況</td> <td>▶ 被災率が高いうえ、被災率が低い ▶ 基本土砂災害で被災</td> </tr> <tr> <td>復旧復興に向けた課題</td> <td>▶ 移転に係る住民意向への対応 ▶ 中心市街地との連絡・連携強化</td> </tr> <tr> <td>市街地復興の方向性</td> <td>B-2-① 被災地区的復興手法の検討</td> </tr> </table> 	地域特徴	▶ 旧制帝の老朽化箇所が多い ▶ 道路の整備水準が低い ▶ 土砂災害や洪水浸水等の災害リスクがある	被害状況	▶ 被災率が高いうえ、被災率が低い ▶ 基本土砂災害で被災	復旧復興に向けた課題	▶ 移転に係る住民意向への対応 ▶ 中心市街地との連絡・連携強化	市街地復興の方向性	B-2-① 被災地区的復興手法の検討	<p>都市計画区域の用途地域内、中心市街地周辺の集落</p> <table border="1"> <tr> <td>地域特徴</td> <td>▶ 旧制帝の老朽化箇所が多い ▶ 土砂災害や洪水浸水等の災害リスクがある</td> </tr> <tr> <td>被害状況</td> <td>▶ 被災率が高いうえ、被災率が低い ▶ 基本土砂災害で被災</td> </tr> <tr> <td>復旧復興に向けた課題</td> <td>▶ 移転に係る住民意向への対応 ▶ 中心市街地との連絡・連携強化</td> </tr> <tr> <td>市街地復興の方向性</td> <td>B-1-① 被災地区的復興手法の検討</td> </tr> </table>	地域特徴	▶ 旧制帝の老朽化箇所が多い ▶ 土砂災害や洪水浸水等の災害リスクがある	被害状況	▶ 被災率が高いうえ、被災率が低い ▶ 基本土砂災害で被災	復旧復興に向けた課題	▶ 移転に係る住民意向への対応 ▶ 中心市街地との連絡・連携強化	市街地復興の方向性	B-1-① 被災地区的復興手法の検討												
地域特徴	▶ 旧制帝の老朽化箇所が多い ▶ 道路の整備水準が低い ▶ 土砂災害や洪水浸水等の災害リスクがある																												
被害状況	▶ 被災率が高いうえ、被災率が低い ▶ 基本土砂災害で被災																												
復旧復興に向けた課題	▶ 移転に係る住民意向への対応 ▶ 中心市街地との連絡・連携強化																												
市街地復興の方向性	B-2-① 被災地区的復興手法の検討																												
地域特徴	▶ 旧制帝の老朽化箇所が多い ▶ 土砂災害や洪水浸水等の災害リスクがある																												
被害状況	▶ 被災率が高いうえ、被災率が低い ▶ 基本土砂災害で被災																												
復旧復興に向けた課題	▶ 移転に係る住民意向への対応 ▶ 中心市街地との連絡・連携強化																												
市街地復興の方向性	B-1-① 被災地区的復興手法の検討																												

## 穴水町 調査総括表(9/9)

《穴水町 調査総括表の各種データの出典等》

項目	出典等	備考
<b>1. 被害の状況等</b>		
(1) 被災前的人口	住民基本台帳	
(2) 人的被害の状況	石川県 HP	
(3) 都市計画等の状況	穴水町 HP	
(4) 建物等被害の状況	罹災証明	罹災証明等による被害の状況を行政区域、都市計画区域、用途地域毎に整理
(5) 津波浸水被害の状況	罹災証明	
(6) 液状化被害の状況	—	
(7) 火災被害の状況	—	
(8) インフラの状況	TEC-FORCE 調査等	
(9) 仮設住宅の整備状況	穴水町 HP	
<b>2. 各種ハザード・過去の被災状況</b>		
(1) 各種ハザード状況	穴水町ハザードマップ	
(2) 過去の被災状況およびその後の対策	石川県土砂災害情報マニュアル	
<b>3～5. (省略)</b>		
<b>6. 復興計画の概要 (市町全体)</b>		
(1)～(4)	復興計画のうち、復興まちづくりに関する内容を記載	穴水町復興計画（令和6年12月）
<b>7. 地区別復興方針</b>		
(1)～(5)	穴水町ヒアリング	